

平成20年8月19日

京情協 地域情報化委員会(20年度 第3回) 議事録

開催日時:平成20年8月19日(火) 17:00~18:15

開催場所:京都コンピュータ学院駅前校 本館1F インフォメーションルーム

参加者:小林、和田、藤関、相原、中井、福本、桧山、中川、桂田(敬称略)

配布資料:地域情報化委員会(第3回)議題、添付資料 ~資料

議事:

## 1. ITコンソーシアム京都 第1回ネットワーク部会参加報告 (桧山氏報告)

- ・7/25に「フェムトセル」及び「衛星ブロードバンド」に関するセミナーが京都テルサにて行われ、桧山氏が出席、内容を報告された。

## 【フェムトセルについて】

- ・講師はソフトバンクモバイル(株)ネットワーク本部副本部長。
- 「フェムトセル」とは、家庭内・ビルフロア内などの狭い範囲の通話エリアで小出力の電波を利用した小型の携帯電話基地局を指し、ソフトバンクは積極的にフェムトセルを推進している。au、docomoと異なり、ソフトバンクは800MHz周波数帯を割り当てられなかったため、屋内通信の品質に関するクレームが多い点が推進理由とのこと。
- ・2008年10月頃からユーザー設置による展開を行う計画で、今後、フェムトセル活用によるあらたなソリューション、サービスの展開も考えられるとのことであった。

## 【衛星ブロードバンドについて】

- ・講師は衛星ブロードバンド普及推進協議会の事務局長。
- ・現在、ブロードバンドカバー率は98.3%であり、それを早期に100%(ブロードバンド・ゼロ地域解消)にする有効手段として、衛星を活用したブロードバンドがあるとのこと。ただし、導入実績が少ないことや気象条件などによる遅延・品質への懸念などの課題もある。今後、実証実験なども行い、普及・広報活動を推進していきたいとのことであった。

## 2. 賀詞交歓の新春セミナーの講師検討 \*添付資料、

- ・講師として下記候補があがった。第1候補である林氏に対し、和田氏が8/20に林氏と知り合いであるKCGの方に交渉を1週間以内にして頂くよう依頼する。

## 講師候補

- ・第1候補:林敏之氏(元ラグビー日本代表。同志社大学から神戸製鋼に入り、日本代表を13年間務めた。ネームバリューとしては十分な方。講演多数。KCG就職課の方が同大出身で林氏と知り合いのため、和田氏から知り合いの方を通して依頼が可能。)
- ・第2候補:松本整氏(元競輪選手。現スポーツトレーナー。スケルトン日本代表トレーナー。トップアスリートだけでなく、高齢者のための運動指導も実施。京都出身。福本氏の知り合いで非常に尊敬できる方とのこと。)
- ・第3候補:東京スカイツリー:(2012年開業予定の新東京タワー。610mの高さは、現東京タワーの約2倍であり、世界一高い電波塔となる。東武鉄道が出資。タワーを中心とした街づくりが進められており、KVBCの集客交流研究会で9月

に話を聞く予定があるとのこと。興味深い内容ではないか。)

### 3. 新卒採用支援セミナー 講師検討 \*添付資料

- ・ 今期、実施を予定しているセミナー2回のうちの1回。
- ・ 講師は、昨年同様、毎日コミュニケーションズ山本氏に依頼。松山氏が交渉し、快諾を得ている。
- ・ 実施日は、他委員会の日程などの関係もあり、11/25(火)又は11/27(木)のいずれかで山本氏と調整することとする。
- ・ テーマは、前回リクエストのあった「掘り下げ面接」などを検討中。山本氏と相談する。
- ・ 講師料は、予算の5万円の予定。

### 4. リテンション(早期離職防止) マネージメントセミナー \*添付資料

- ・ 今期、実施を予定しているセミナー2回のうちの2回。
- ・ 早期離職を防ぐためのリテンションに関するセミナーを検討している。
- ・ 講師は、KVBC 副代表幹事の(株)パシオ代表取締役の藤井氏に依頼。中川氏が交渉し、快諾を得ている。
- ・ 実施日は、新春セミナー・他セミナー日程などの関係もあり、2/2の週で藤井氏と調整することとする。
- ・ テーマについては、初回に相応しい内容を藤井氏と相談する。
- ・ 講師料は、予算の5万円の予定。

### 5. 次回掲載予定の採用耳より情報(vol.4)(桂田報告) \*添付資料

- ・ 8/19に和田氏よりvol4の発信アナウンスを会員企業にメールして頂いた。
- ・ 今回の内容は、2009年度新卒採用の動向に関する総括。その中でも「内定出しから内定承諾までの期間が長期化」している点に着目し、企業としてどんなフォローが出来るかを紹介している。
- ・ 今後も定期的に2ヶ月に一度位のタイミングで発信していきたい。

### 6. その他

#### (1) キャリア形成促進助成金制度の件 \*添付資料

- ・ 前回の委員会で話題にあがった助成金の活用について、相原氏より、KCAの3社が協力しキャリア形成助成金を利用する話があがっていた旨、報告があった。その後の話では、状況は進んでいない模様。
- ・ 助成金の申請は協会として行うのではなく、個々の企業が行う必要があるため、当委員会としては、利用可能な合同研修を実施した際に助成金の活用が出来る旨をアナウンスするなどのレベルに留まるのではないかとのことであった。
- ・ 参考までに、KEISで今期、助成金を活用した新人合同研修を行っているが、研修期間が6ヶ月以上で、企業負担が大きいなどの話があがった。

#### (2) 他府県の情報産業団体との連携、情報収集

- ・特になし

(3) 上記以外

- ・小林氏より、同志社大学・京都橘大学の就職状況の傾向として、就職先が殆ど大企業であること、京都に就職している人数が減っているなどの話があった。このことは、以前に正副委員長が大学訪問した際にヒアリングした内容と一致しており、「最近の学生は親の意見に従う事が多く、親は首都圏に就職させたがっている」といった就職担当者の話を裏付ける。
- ・また、朝日新聞に、京都大学理学部の学生の就職先は外資系が人気であると掲載されていた事もあわせて小林氏から紹介があった。
- ・以上のような話を受け、京都として人材確保・育成が課題であること、また IT 企業として派生開発(機能追加や改造など)が多い状況ではモノづくりの喜びを実感し難いのではないかと、一企業の努力で解決できるのか、解決できなければ何らかの対策を(京情協として)検討する必要があるのではないかとといった意見があがった。

以上